

MON-T2 温度ロガー

ご使用マニュアル

目 次

ご使用方法

ご使用前準備

【お使いになる前に】

【TempWrite のインストール】

使用方法

【ソフトウェアとクイックアイコン】

《ロガーにアクセスするには》

《ロガーをプログラムするには》

《ロガーをスタートさせるには》

《ロガーをストップさせるには》

【ロガーデータの読み取り】

【ファイルをエクスポートするには】

【ロガーを再利用するには】

【MORE INFO】

《LCD バージョンの説明》

ヘルプ

【ウィザードへようこそ】

【接続ウィザード】

【TempWrite の概要】

【パラメータウィザード】

【グラフガイド】

トラブルシューティング

【お問合せ】

ご使用方法

使用方法はいたって簡単です。

TempWrite ソフトウェアにあるヘルプウィザードにすべてが記載されています。

メニューバーにある以下のヘルプボタンをクリックするだけです。



ご使用前準備

【お使いになる前に】

Temprecord リーダー（読取り装置）または、一般的な USB ケーブル（USB モデル）

TempWrite ソフトウェア（無料）でダウンロードして PC にインストール

*Temprecord リーダーは、USB モデルを含む Temprecord 社すべての温度ロガーに使用できます。

ダウンロードのアドレス

<https://temprecord.com/our-software/tempwrite/>



作業を手際よく進めるために多数のロガーを操作する場合、Temprecord リーダーの使用を推奨いたします。

【TempWrite のインストール】

- TempWrite ソフトウェアは、以下から無償でダウンロードできます。

<https://temprecord.com/our-software/tempwrite/>

- ダウンロード後インストーラーの案内に従ってインストールしてください。
- Windows7,8,8.1,10 に対応しています。
- ソフトウェアをインストールするまで、温度ロガーを PC に差し込んだり、Temprecord リーダーを接続したりしないでください。

使用方法

【ソフトウェアとクイックアイコン】



ソフトウェアを起動すると、ホーム画面にそれぞれの機能が連想されるクイックアイコンが上部に表示されます。

また、自動翻訳ソフトと連動しているので、ご希望の言語に変換可能です。

《ロガーにアクセスするには》

- ・ ソフトウェアを起動させ、Temprecord リーダーを PC に接続します。次にリーダーに温度ロガーを差込みます。温度ロガーを上向きに、輪っかがリーダーの外側になるようにセットします。
- ・ USB モデルの場合、USB ケーブルを使用して、直接 PC に繋がめます。
- ・ キーボードのスペースバーをタイプしてロガーにアクセスします。

《ロガーをプログラムするには》

1. TempWrite ソフトウェアを起動させます。スペースキーもしくは《クエリ》アイコンを押します。



2. ロガーをプログラムする《パラメーター》を選択します。

3. パラメータの基本設定で希望の設定を行います。



4. 一度設定したプログラムを、《プログラム装置》アイコンをクリックして、ロガー本体にセーブさせます。



《ロガーをスタートさせるには》

TempWrite ソフトウェアの《スタート》アイコンをクリックします。



また、TempWrite ソフトウェアで、ロガーボタンの使用設定を行うと、ロガーの Start/Stop ボタンを 2 秒押すことでスタートできます。

《ロガーをストップさせるには》

TempWrite ソフトウェアの《パラメーター》にある、『開始、停止とサンプルの設定』によりストップさせることができます。

Mon-T² LCD USB DU00001150
準備ができて 28.66 °C

パラメーター制御

- ボタンで停止します。
- ボタンを再利用。
- タグを配置することを許可します。
- LCD メニューを有効にします。
- 拡張の LCD メニュー

使用される文字: 8/160

開始、停止とサンプルの設定

起動オプション:

- 遅延開始します。
- 日付時刻で開始します。

停止オプション:

- ユーザーによる停止が必要です。
- 停止の場合
- サンプルを停止します。
- 日付時刻で停止します。

旅行情報:
16384 サンプル 5日 16:32:00 デバイスの前に 既存のサンプルの上書きを開始します。
今起動した場合 (2017/07/06 11:46:51) 開始遅延 00:10:10 サンプルを上書きするデバイスが開始されます。2017/07/12 4:29:01 (サンプル: 16384).

チャンネルの設定

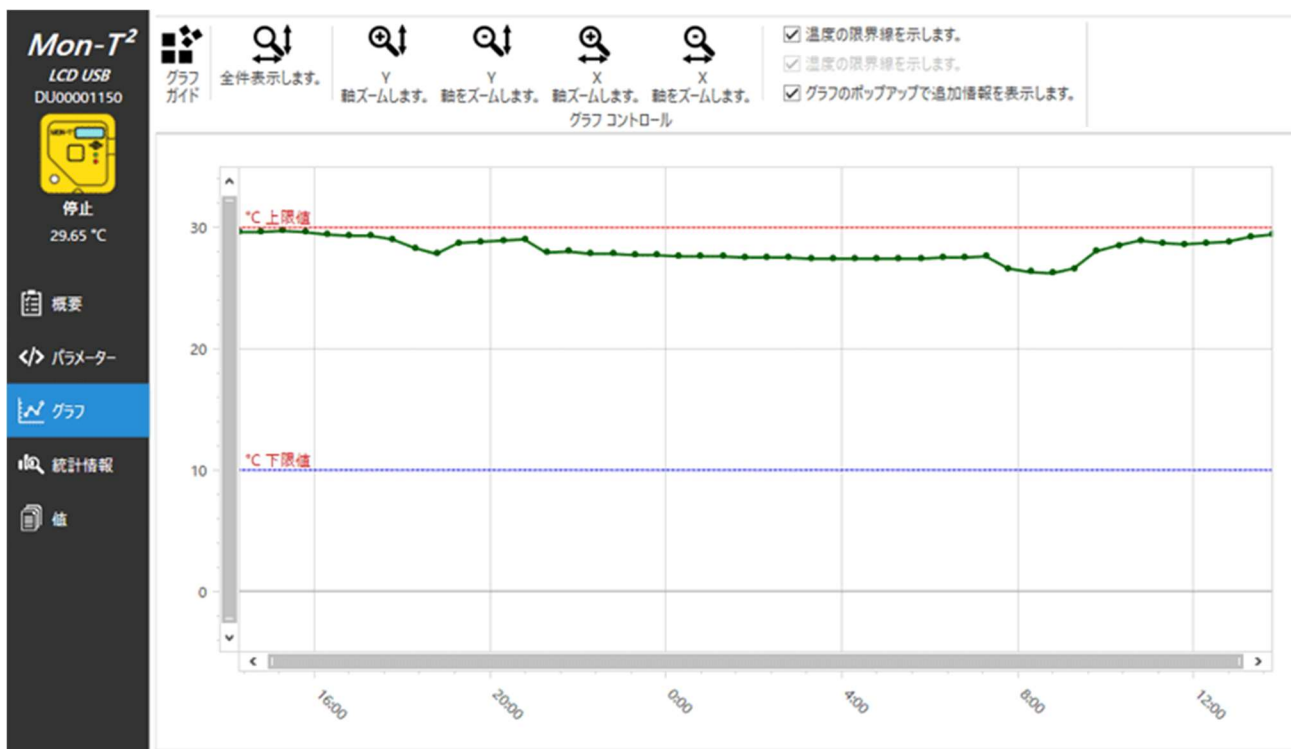
チャンネル 1: 温度	チャンネル 2: 温度
<input checked="" type="checkbox"/> 有効になっています。	<input type="checkbox"/> 有効になっています。
<input type="checkbox"/> 制限を有効にします。	<input type="checkbox"/> 制限を有効にします。

【ロガーデータの読み取り】

TempWrite ソフトウェアのホームにある「読み取り」アイコンをクリックするとデータを読み取ります。



- ・ 「グラフ」をクリックするとデータのグラフが表示されます。
- ・ 「統計情報」をクリックすると統計情報が表示されます。
- ・ 「値」をクリックするとログデータが表示されます。



【ファイルをエクスポートするには】

《エクスポート》アイコンをクリックすることで、セーブしたデータを PDF やエクセルなど改ざん不可の信頼できるデータへ変換が容易です。



《エクスポート》右端のアイコン（レポートのセットアップ）で PDF に書き出す情報を設定できます。



【ロガーを再利用するには】

ロガーを再利用または再プログラムするには、ホームにある《再利用します》アイコンをクリックします。ロガー内のデータが消え、使用可能のモードになります。



(注) パラメーターで設定したリミットを突破していない場合、ロガーボタンを押すことで再使用（継続）できます。

これでロガーの再利用が可能です。

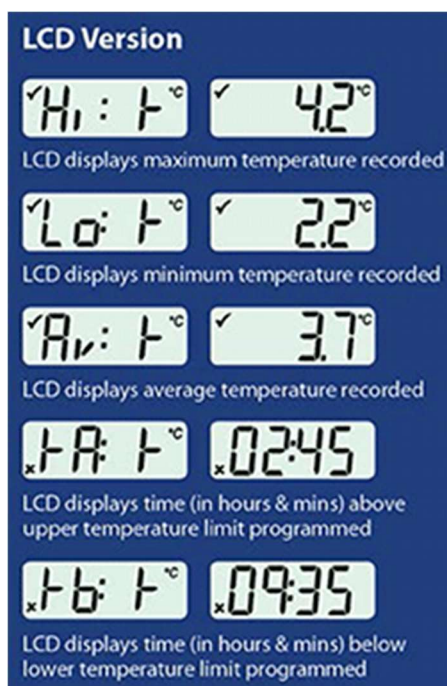
【MORE INFO】

《LCD バージョンの説明》

- ボタンを使ってロガーをスタート/ストップする場合（パラメーターでの設定済みの場合）LCD スクリーンに『スタート』や『ストップ』が表示されるまで押してください。



- ロガーがデータを計測中の場合、現在の温度や湿度（ロガーのモデルにより）が表示されます。
- ロガーのボタンを押すと以下のように表示が変わります。（パラメーターで設定済みの場合）



ヘルプ

TempWrite

メニュー ホーム

戻る

ペン

オープン

保存

電子メール

クラウド

印刷

エクスポート

設定

ヘルプ

について

ウィザードへようこそ
TempWrite ソフトウェアを簡単に紹介します。初めてソフトウェアを初めて起動するときに通常表示されます。

接続ウィザード
Temprecord デバイスを取得する方法についてのクイック ガイドは、TempWrite との通信に接続されています。

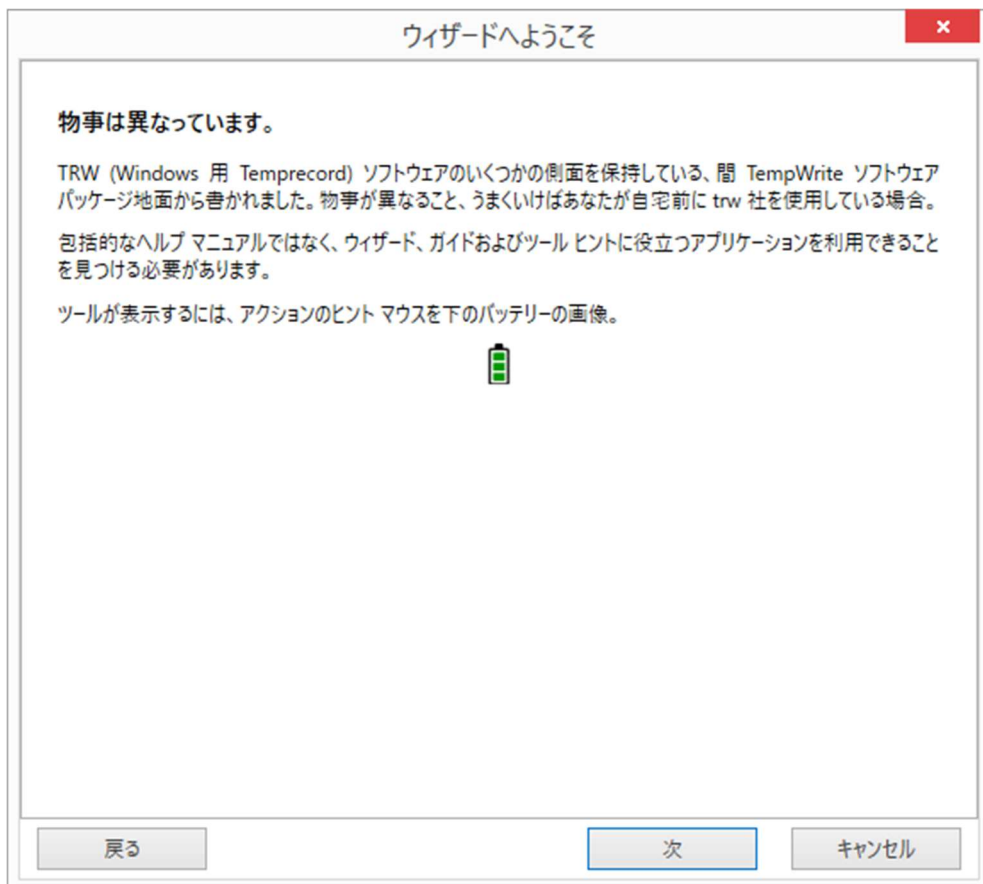
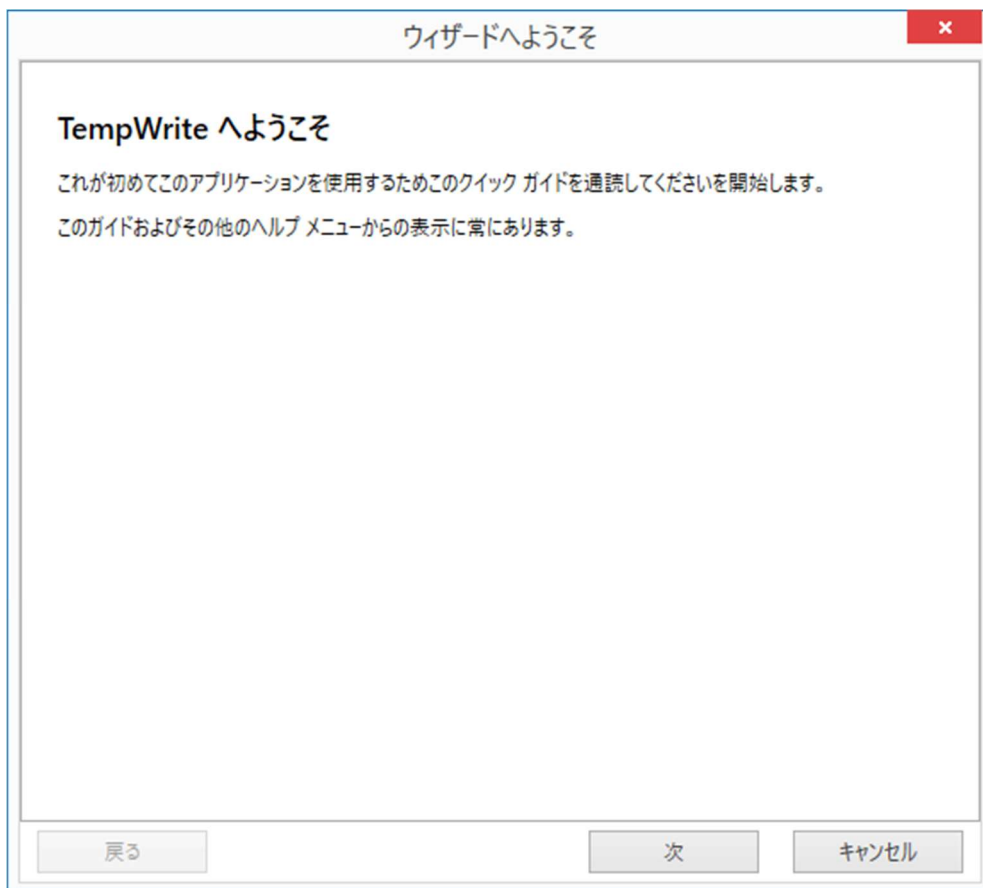
TempWrite の概要
このガイドでは、TempWrite ソフトウェアを開始する方法を示します。これは、ソフトウェアを使用してプログラム、開始を跳んで、お使いのデバイスを再利用する方法をガイドします。

パラメーター ウィザード
このウィザードは、お使いのデバイスをプログラムするために使用することができます。デバイスのパラメーター ファイルを作成することを説明します。

グラフ ガイド
このガイドは、TempWrite ソフトウェア内でグラフを使用する方法を示すものです。

[ヘルプのダウンロード](#)

【ウィザードへようこそ】



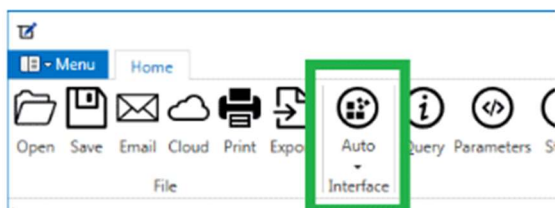
ウィザードへようこそ

改善されたデバイス インターフェイス

新しい TempWrite ソフトウェアは、デバイスを自動的に検出、デバイス インターフェイスを PC を向上します。本物の Temprecord USB デバイスまたは本物 Temprecord USB リーダーがある場合は、もう一度、COM ポートの設定について心配する必要がなくなります。

ただメイン ツールバー インターフェイス・メニューから自動インターフェイスが選択されて、これは自動的にデバイスを見つけるかどうかを確認します。

注: 一度に 1 つのデバイスのみで動作します。複数のデバイスを読み取るしようとしている、自動インターフェイスは USB ロガーに与えられた優先順位の 1 つで、読むとすると!



戻る

次

キャンセル

ウィザードへようこそ

デバイスのパラメーター

今は最大 5 デバイス パラメーターをお気に入りに保存できます!

パラメーター ウィンドウを開き、好きなパラメーターを読み込む設定を選択するには下のアイコンをクリックしたら、あなたのお気に入りを構成するには [設定] メニューに移動します。



各パラメーターを理解する問題があれば、パラメーター ウィザードを使用してみてください。

パラメーター ウィザードは、ヘルプの設定と、開いているすべてのパラメーター ウィンドウで見つけることが、ウィザードを起動するには下のアイコンを探します。



戻る

次

キャンセル

ウィザードへようこそ



ありがとう

便利なガイドのヘルプを表示してください。

このガイドを読んで、Temprecord 製品を使用いただきありがとうございます。

戻る

[完了]


キャンセル


【接続ウィザード】

接続ウィザード

接続ウィザードへようこそ。このウィザードでは、Temprecord USB デバイスまたは Temprecord USB リーダーに接続する方法を指示します。

表示したい命令を選択するには。

 USB デバイスの指示

 USB リーダー指示

戻る 次 キャンセル

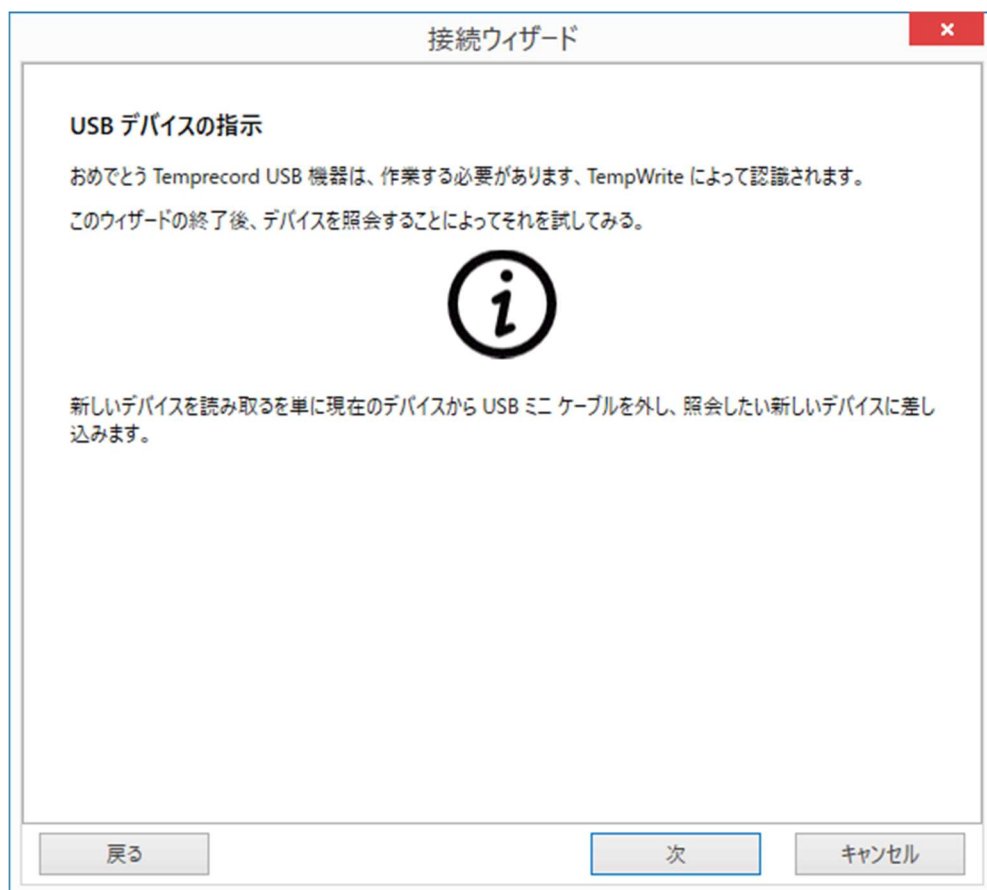
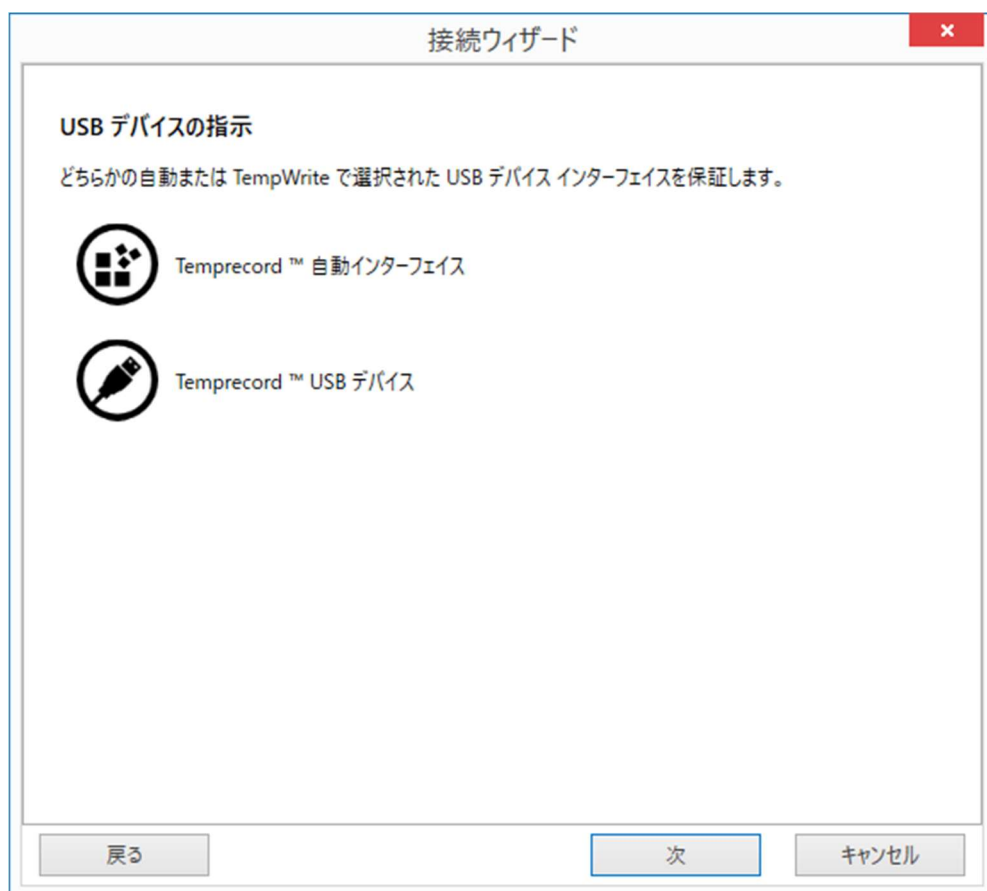
接続ウィザード

USB デバイスの指示

1. ミニ USB ケーブル、コンピューター上の利用可能な USB ポートに大きい端を接続します。
2. ミニ USB ケーブルの小さい端を Temprecord USB デバイスに差し込みます。
3. デバイスの緑色の LED が点灯していることを保証します。ライトアップされていない場合デバイス上のミニ USB ケーブルを抜いてみてください、それをバックアップそれを差し込みます。



戻る 次 キャンセル

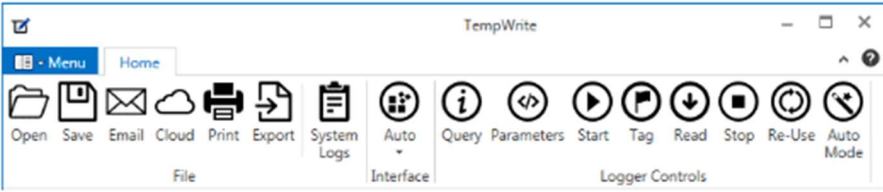


【TempWrite の概要】

TempWrite の概要

次のガイドは、あなたのデバイスと TempWrite ソフトウェアの使用を開始する方法の基本的な指示を与えるには。

このガイド全体で我々は、Tempwrite のメイン メニュー バー上のボタンを参照します。



戻る 次 キャンセル

TempWrite の概要

要件

このガイドのすべての機能を使用することができますを開始する前に、以下が必要です。

- Temprecord USB リーダーのインターフェイスまたはミニ USB ケーブル



- Temprecord MonT2 デバイス



お使いのデバイスをコンピューターに接続するヘルプが必要な場合、接続ウィザードを使用したい場合があります。

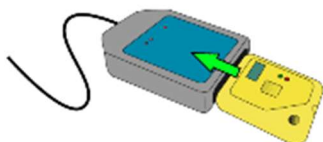


戻る 次 キャンセル

TempWrite の概要

デバイスへのアクセス

デバイスは、それは上を向いているので、それは行く限りでは、リーダーに挿入されたを確認します。



デバイスは、USB 接続をサポートしている場合は、お使いのコンピューターにそれを接続する USB ケーブルも使用できます。



キーボードのスペースバーを押すことによってまたはクエリ ボタンを押すと、デバイスにアクセスします。



戻る

次

キャンセル

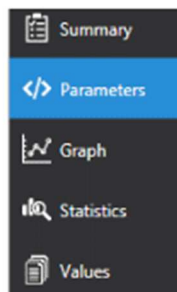
TempWrite の概要

プログラムのパラメーター

お客様のニーズに合うように、デバイスの動作パラメーターをカスタマイズできます。行うにこれは単に[パラメーター] ボタンをクリックします。前にクエリ コマンドを使用してデバイスへのアクセスはお勧め、この手順は任意です。



デバイスにアクセスした場合は、サイド メニューにもパラメーターを選択できます。これは、デバイスが存在しない場合でも動作します。



戻る

次

キャンセル

TempWrite の概要

プログラムのパラメーター



一度変更する続行可能性がありますパラメーター画面で。あなたが動けなくなる場合パラメーターウィザードに従って、すべてのオプションがあります。



保存には、デバイスへの変更はプログラムのデバイスを選択します。



出荷時の設定を押すことによって、いつでも工場プログラム パラメーターを復元することも。

戻る

次

キャンセル

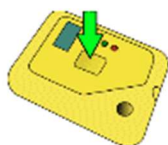
TempWrite の概要

デバイスを開始

TempWrite でお使いのデバイスを開始するため [スタート ボタン] をクリックします。



パラメーターをプログラミングする際にボタンによって開始を有効にした場合、2 秒間、デバイス上のボタンを押しても開始できます。



特定の日にあなたのデバイスを開始またはパラメーターをプログラミングする際の時間を決定した場合、他の何かをする必要はありません。デバイスはすでに始まっています。

戻る

次

キャンセル

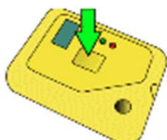
TempWrite の概要

デバイスを停止します。

TempWrite で実行されているデバイスを停止するには、停止ボタンをクリックしてだけ。



あなたはボタンを押してデバイスを 6 秒間実行中、停止できます、パラメーターをプログラミングする際、ボタン オプションで停止が有効に提供されます。



デバイスは、完全な特定のサンプルまたは日付と時刻のときに停止する自動的に可能です。これは、パラメーターをプログラミングする際に、TempWrite で選択したオプションに依存します。

戻る

次

キャンセル

TempWrite の概要

デバイスを読む

デバイスが再使用時間に最初のサンプルを取得した後、デバイス上のデータを読み取ることができます。読むことは、デバイスは、TempWrite で読み取りボタンを押します。



デバイスがデバイス用のグラフや統計値のページを表示することができます簡単にすることができます読む表示および記録されたデータを分析します。

Summary

Parameters

Graph

Statistics

Values

戻る

次

キャンセル

TempWrite の概要



データのエキスポート

TempWrite それらのファイルを読むことも必要という残念なことにあなたのデータを保護するための最も安全な方法は、TempWrite ファイルを保存します。



データをエキスポートすると、pdf ファイル、スプレッドシートも画像などさまざまな形式を使用して、簡単にデータを使用したり、さらにさまざまなアプリケーションで動作することができます。

戻る

次

キャンセル

TempWrite の概要

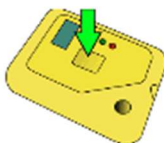


デバイスの再利用

デバイスが停止したとき再び再利用ボタンをクリックするだけで再使用可能性があります。



場合これを行うプログラム、あなたも再使用できますデバイス 6 秒が停止したときに、ボタンを押したまま。ただし、のみ制限が破られていない場合、これを行うことができます。



戻る

次

キャンセル

TempWrite の概要



ありがとう

このガイドを読んで、Temprecord 製品を使用いただきありがとうございます。

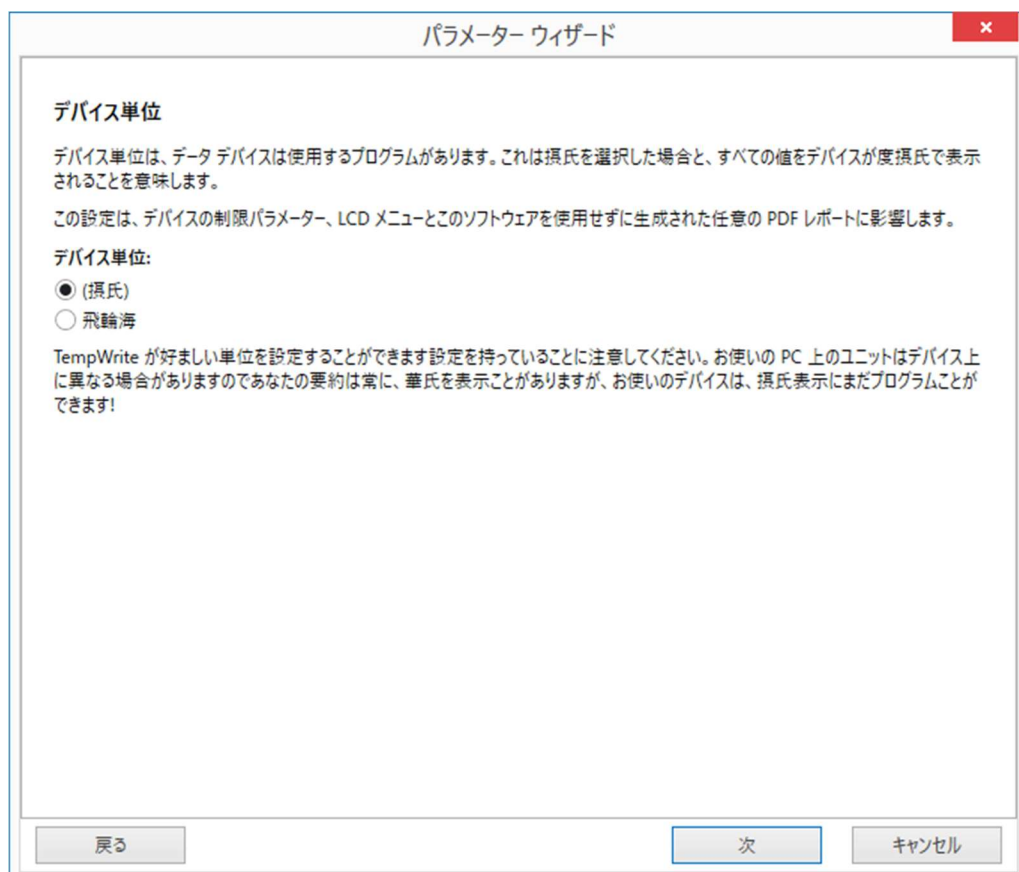
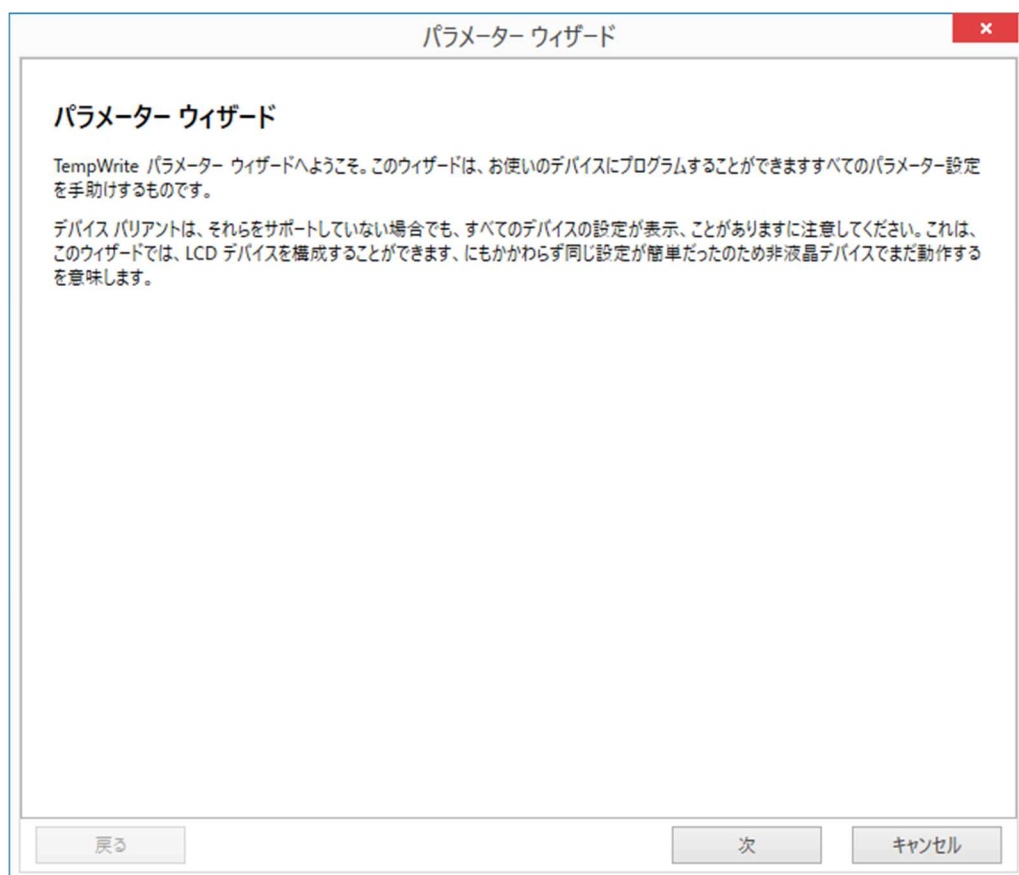
今お使いのデバイスで TempWrite を使用方法について十分な知識が必要です。それ以上の訓練を必要とする必要がありますまたは、サポートお問い合わせください。

戻る

[完了]

キャンセル

【パラメータウィザード】



パラメーター ウィザード ×

LCD メニュー

LCD メニュー設定のみ液晶デバイスに影響を与えるし、すべての非液晶デバイスでは、既定では無効します。

LCD メニューは、デバイスが実行中または停止中デバイス液晶画面に基本的な統計情報を表示することができます。この情報には、すべての有効なチャンネルの最小、最大、および平均の値が含まれています。

LCD メニューを有効にします。

メニューを有効にした場合はクイック プレスとリリース ボタンのアクティブ化します。次のメニュー項目を表示するには、ボタンを押すだけ。

拡張の LCD メニューは、各有効なチャンネルの時間上の制限と時間制限の下などの追加情報を表示することができます。

拡張の LCD メニュー

戻る 次 キャンセル

パラメーター ウィザード ×

ループの上書き

ループ上書きデータの完全性が無効になります! 使用には注意する必要があります。

ループ上書きを有効にするデバイスはそれがいっぱいになる場合でも、最新のチャンネル値を記録できるようになります。

通常どおりにデバイス動作までそれがいっぱいになります。いっぱいになる後最古の値は消去され、最新のログに記録された値に置き換え、これを続けてのデバイスが停止するまで。

ループの上書き

デバイスがループを開始したとき、それはすべての統計情報の値に影響可能性がありますのでご注意ください。コンピューターのソフトウェアは、デバイスはアカウントにすでに中の消去されたデータの値の値の値を知る方法がないので、コンピューターの値とすべての統計情報計算デバイス値は異なる場合があります。最初のログに記録された値の時間は、デバイスが開始された時間とは異なることができます。

戻る 次 キャンセル

パラメーター ウィザード ×

タグ

タグ (またはマーカー) は、ユーザーがログに記録されたデータに置くことがポイントです。
彼らは、さまざまなデバイスの旅の重要なポイントをマークする状況で役に立つ可能性があります。

タグを配置することを許可します。

例: デバイスは、冷凍庫に配置できます。冷凍庫のドアを開いたときマーカー ユーザーにより行われます。PC ソフトウェアを使用して、データの読み取り時の扉が開かれた時刻を識別するマーカーと 1 つ冷凍庫温度は、ドア開口部に影響を与えるかを分析できます。

戻る 次 キャンセル

パラメーター ウィザード ×

サンプル期間

サンプル期間は、ログに記録されたサンプルまたはデバイスがサンプルおよび有効なチャンネルをログに記録する頻度の間隔を制御します。

短いサンプル期間を与える詳細については時間をかけて、何が起きている、ログに記録されたデータをしかし、これはデバイスのメモリをいっぱいに高速記録することができます旅行/実験の合計時間を短縮する原因となります。

間維持できますサンプル期間をできるだけ短く旅行/実験十分な安全バッファを許可する必要があります最後期待以上をお勧めします。

サンプル期間:

▼

戻る 次 キャンセル

パラメーター ウィザード

起動オプション

スタートのプログラマブル遅延デバイスのソフトウェアから、またはボタンで開始が可能です。この起動の遅延は、削除する 0 に設定できません。ない場合に対して exprie する時間の期間を待っている代わりに、すぐ記録デバイスとしてそれ非常に有用なことができます。12 時間以上の遅延が必要な場合は、日付時刻のオプションで開始を使用する必要があります。

日付時刻オプションを開始だけプログラム（でき始めた）TempWrite ソフトウェアを介して。それは自動的にデバイスときプログラムを起動、プログラムされた日付と時刻を開始（最初のサンプルを取る）。これは、複数のデバイスからのデータは、データを簡単に比較できるように同期を保証するために素晴らしい方法です。

起動オプション:

遅延開始します。 ボタンで開始します。

日付時刻で開始します。

開始遅延: **日付時刻で開始します。:**

パラメーター ウィザード

停止オプション

デバイスは常にソフトウェアまたはどのオプションが選択されています（有効な）場合のボタンで停止することができます。

ユーザーによる停止は最適ループを上書きまたはユーザーが実際にデバイスを停止したときに正確なタイムスタンプを持つことが重要です。ユーザーは、ボタンまたはソフトウェアを介してデバイスを停止する必要があります。このオプションを選択は、デバイスが停止するまで新しい値をとり続けることを意味します。それは書き込みより完全、できませんが、それは液晶の表示を更新する（バッテリーの排出）の新しいサンプルを取る続けます。

メモリがいっぱいになると完全に停止は停止モードに自動的にデバイスを配置します。このオプションは、ループを上書きでなく使用できます。

ログに記録されたサンプルの設定数が達したときサンプルの停止はデバイスの停止を自動的に。

日付時刻の停止は、選択した日時に可能な限り近いデバイスを停止します。このオプションを使用するには、デバイスは、日付時刻を開始する必要があります。

停止オプション:

ユーザーによる停止が必要です。 ボタンで停止します。

停止の場合

サンプルを停止します。

日付時刻で停止します。

サンプルを停止します。: **日付時刻で停止します。:**

パラメーター ウィザード



チャンネル選択

デバイスを有効にするチャンネルを選択します。

有効なチャンネル データだけは記録されたと表示されることになります。

2 番目のチャンネルを有効にする (湿度) 無効になりますこのチャンネルに自動的にチャンネルの温度のみを持つデバイスをプログラムしましょう。1 つのチャンネルのデータ デバイスをプログラムする場合のみ、2 番目のチャンネルを有効にする、予期せぬ動作となります。

- 温度
 湿度
 湿度と温度

戻る

次

キャンセル

パラメーター ウィザード



チャンネルの制限

有効にしてチャンネルの制限の構成は、指定した上限と下限の制限に対してログに記録された値をチェックするデバイスが強制されます。

制限を超えた場合デバイスがクロスに LCD に表示される目盛りシンボルを自動的に変更されます。ステータスまたは LCD メニューを表示するボタンを押すと、またによって信号が赤点滅を使用して X 記号。

チャンネル 1: 温度

制限を有効にします。

上限値: °C

下限値: °C

チャンネル 2: 湿度

制限を有効にします。

上限値: %RH

下限値: %RH

戻る

次

キャンセル

【グラフガイド】

グラフ ガイド

グラフ ガイド

このガイドは、TempWrite ソフトウェア内でグラフを使用する方法を示すものです。

このガイドで説明する主なトピックは、ズームおよびグラフをスクロールするために各種のショートカットの使用の。

戻る 次 キャンセル

グラフ ガイド

拡大/縮小ボタン

グラフを拡大または縮小するために使用できる 5 ズーム ボタンがあります。これは、グラフの表示を拡大する最も基本的な方法です。各ボタンがそれの上にマウスを置く場合にツール ヒントが表示されます注意してください。

自動ズーム ボタンが任意の限界線を含む timespan と値の範囲全体をズームアウトします。

全件表示します。

残りのボタンは、値または時間軸に沿ってグラフを約 20% たびに拡大/縮小して使用できます。これらのボタンには、このガイドの残りの部分で他のショートカットによって提供されるよりも大きいズーム機能ができます。

<p>X 軸をズームします。</p>	<p>X 軸をズームします。</p>
<p>Y 軸をズームします。</p>	<p>Y 軸をズームします。</p>

戻る 次 キャンセル

グラフガイド



ズームのショートカット

次の表は、グラフをズームするための他のすべてのオプションを示しています。

ショートカット	説明
SHIFT キー + 選択	SHIFT キーを押しながらマウスでズームインしたいエリアを選択します。
SHIFT キーを押しながらクリック	SHIFT キーを押しながらマウスをクリックして、グラフが急上昇します。
ALT キーを押しながらクリック	ALT キーを押しながらマウスをクリックして、グラフを縮小します。
マウスのスクロール ホイール	マウスのスクロール ホイールを使用して、グラフでズーム出たり入ったりです。
軸のスクロール バー	マウスのスクロール ホイールを使用して、グラフでズーム出たり入ったりです。
CTR キーと + キーまたは - キー	CTRL キーを押しながらキーを押し、キーを押すと ctrl キーを押しながらグラフのズームされます + -キーのグラフがズームされます。
ピンチまたは広がりジェスチャ	タッチ スクリーン デバイスを使用して、ズームインし、ズームアウトするジェスチャーを普及するピンチ ジェスチャーを使用して、グラフを拡大できます。

戻る

次

キャンセル

グラフガイド



スクロールしているショートカット

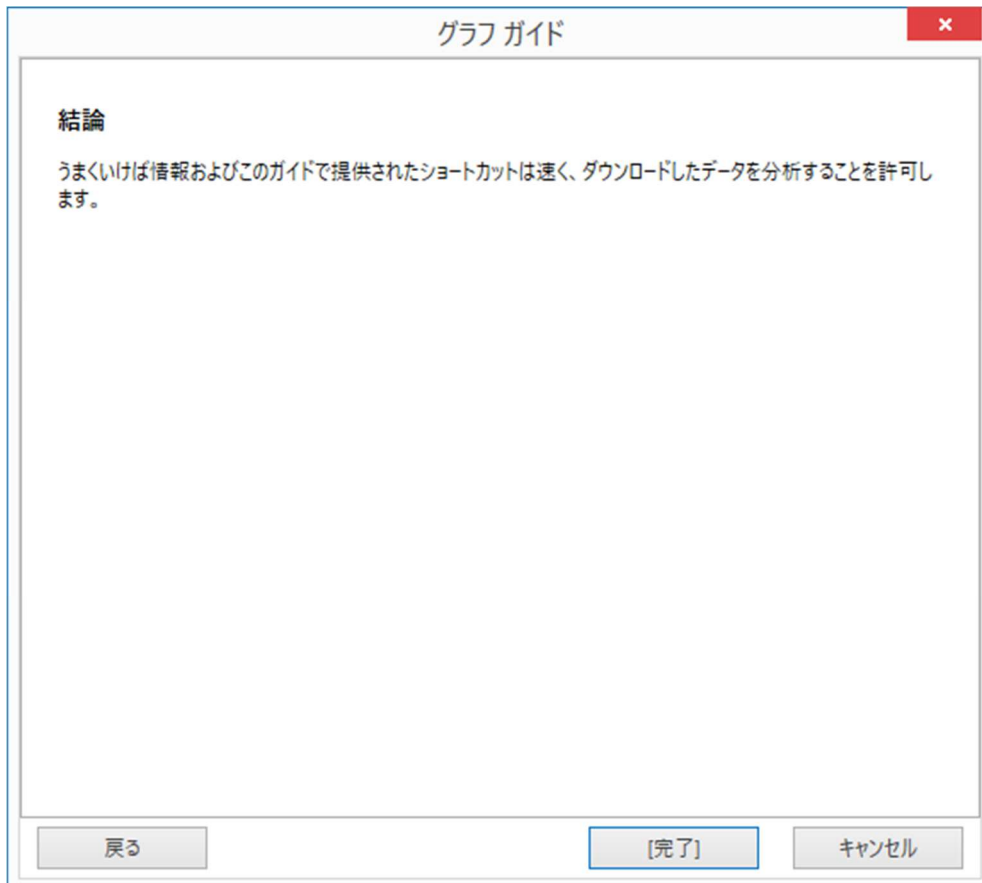
次の表は、拡大した場合はのみ動作をスクロール グラフをスクロールするためのすべてのオプションを示しています。

ショートカット	説明
マウスのクリックとドラッグ	クリックし、マウスの左ボタンを使用してグラフをドラッグしてドラッグ、グラフにスクロールができます。
軸のスクロール バー	スクロール バーの矢印を使用することまたはクリックし、グラフをスクロールするスクロール バーをドラッグ可能性があります。
CTRL キー + 矢印キー	体つき、CTRL キーと使用して保持している矢印キー (最大、下、左、右)、スクロール グラフを方向キーの方向へ。
パンおよびフリック ジェスチャ	タッチ スクリーン デバイスを使用している場合は、パン ジェスチャやフリック ジェスチャを使用して、グラフをスクロールできます。

戻る

次

キャンセル



トラブルシューティング

【お問合せ】

Temprecord MON-T2 温度ロガーに関し、WEB サイトのお問合せ、メール、FAX、電話などお問合せを受け付けております。

ご連絡をご希望されるお客様は、以下へご連絡をお願いいたします。

WEB サイト : <https://www.temprecord.jp/contact.html>

メール : info@temprecord.jp

電話 : 03-5937-5721

FAX : 03-5937-5722

トレンドサイン株式会社

〒160-0023

東京都新宿区西新宿8-19-2

西新宿 TK ビル6F

Temprecord 温度ロガー 担当者